

平成25年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(平成24年度対象)

平成25年9月

美浜町教育委員会

目 次

I	自己点検・評価の考え方	2
II	具体的な点検・評価の方法	2
III	第4次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）	3
IV	平成24年度美浜町教育委員会重点努力目標	6
V	みはまの教育・合い言葉	8
VI	施策の成果	
	第1 教育委員会運営	
	1 教育委員会開催の状況	9
	2 教育委員会委員の活動状況	9
	3 教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況	10
	4 「みはまの教育・合い言葉」の普及活動	11
	5 日本福祉大学との連携	11
	6 学校訪問実施状況	11
	7 学校巡視実施状況	11
	第2 学校教育事業	
	1 児童生徒の指導	11
	2 学校運営	12
	第3 社会教育事業	
	1 社会教育委員会	14
	2 生涯学習センターの運営	14
	3 青少年教育	15
	4 家庭教育	16
	5 文化振興事業	16
	第4 公民館事業	
	1 公民館管理	17
	2 利用状況	17
	3 公民館活動	17
	第5 文化財保護事業	
	1 文化財保護委員会	17
	2 文化財保護事業等	17
	第6 社会体育事業	
	1 体育指導委員	18
	2 スポーツ大会の開催	18
	3 トレーニング室運営事業	18
	4 社会体育施設等の利用状況	18
	第7 図書館運営事業	
	1 美浜町図書館協議会	19
	2 図書館の現況	19
	3 図書館活動	19
	第8 学校給食センター管理運営事業	
	1 学校給食センター運営委員会	20
	2 学校給食の状況	20
	3 食に関する指導	20
VII	総合評価	21
VIII	点検評価委員による評価	22

I 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から、教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を実施することとなりました。

美浜町教育委員会としては、これまでも教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことであります。そのような観点から、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を実施することとしました。

II 具体的な点検・評価の方法

点検・評価の対象には、教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）、教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）及び教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）等がありますが、平成24年度の点検・評価の方法を、第4次美浜町総合計画の教育委員会関連部分の主要の施策及び平成24年度美浜町教育委員会重点努力目標を基本的な目的として、施策の成果等を以って代えるものとししました。

〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

Ⅲ 第4次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）

学校教育の主要な施策

1 特色ある学校づくり

- (1) 児童生徒の個性、創造力を伸ばし、「生きる力」を育成するため、創意工夫をこらした特色ある学校づくりを推進します。
- (2) 教育内容の厳選により生まれた時間的・精神的なゆとりの中で、基礎基本を確実に習得させるとともに、選択学習の幅を拡大し、児童生徒の興味、関心、能力等に応じた学習を行い、「わかる授業」、「工夫された授業」に努めます。
- (3) 総合的な学習の時間は、それぞれの地域の特色を活かした郷土学習を推進します。
- (4) 「心の教育（道徳）」を充実させるとともに、身近な自然を理解・親しみ、自然の保全・創造を図る自然教育・環境教育を進めます。
- (5) 少人数指導、習熟度別指導が可能となるよう教職員の定数改善やアシスタント教員の配置に努めます。

2 学校施設の計画的な整備

- (1) 校舎・グラウンド等の修繕工事を進めるとともに、快適な空間づくりとしてトイレの改修や施設のバリアフリー化を進め、また学校開放を考慮しながら計画的な修繕を実施します。
- (2) 河和中学校の柔剣道場、金工木工室を整備します。

3 情報化への対応

職員室、図書館、コンピュータ教室、その他必要な教室をネットワークで結び、インターネットなど学習方法の多様化に対応できるよう情報機器の整備・充実を図ります。

4 国際化への対応

外国人講師による外国語教育をさらに充実させるとともに、異文化の理解のため、草の根国際交流の充実を努めます。

5 いじめ・不登校への対応

学校・家庭・地域社会の連携により、地域ぐるみで教育相談体制の充実を努めます。

6 特別支援教育の充実

ノーマライゼーションの理念に基づき、学校・保護者・関係機関と連携して、障害の程度に応じた適切な就学支援を推進します。

7 学校開放の推進

学校運営に支障のない範囲で、特別教室や余裕教室の有効利用を図りながら、地域の交流の場・生涯学習の場として開かれた学校を目指します。

8 安全対策

学校施設の定期的な安全点検や通学路の安全確保など関係機関と連携して事故防止に努めます。

生涯学習の主要な施策

1 生涯学習関連施設の活用

心育館を生涯学習の拠点施設と位置付けるとともに、地区公民館の運営と利用について、住民参加の体制づくりに努めます。

2 生涯学習施策の確立

住民の誰もが気軽に学習の相談ができるような学習相談体制の整備に努めるとともに、受講者によるカリキュラム作成と講座運営を進めます。

3 学習情報提供システムの構築とボランティア制度の確立

学習団体・グループ、指導者等に関する各種の生涯学習情報を集約し、住民に提供するシステムを構築するとともに、生涯学習に必要なボランティアの募集・登録を進め、生涯学習活動のサポート体制の充実に努めます。

4 学校教育と図書館の連携

郷土資料、行政資料及び参考資料の充実を図り、学校教育での「調べ学習」や「総合的な学習」を支援するとともに、学校図書館との図書物流等のあり方を検討します。

5 文化施設・生涯学習施設としての図書館の活用

自主的な活動の場としての、教養、文化の向上に寄与する施設として、資料の充実、情報拠点としての整備、広域的ネットワークの推進を図ります。

6 図書館の資質向上

整理・奉仕作業やレファレンスの充実を図るとともに、図書館ボランティアの参加を促し、サービスの向上に努めます。

家庭教育・青少年教育の主要な施策

1 青少年リーダーの養成

青少年の自主的な活動を側面から支えるため青少年の育成を支援する援助者の育成に努めます。

2 魅力的なプログラム作りと情報提供

青少年の社会参加活動を促すための魅力的なプログラム作り、体験活動の情報提供の充実を図ります。

3 青少年の仲間づくり・居場所づくり

青少年が交流でき、安心して過ごすことのできる居場所づくりを関連施設と連携して行います。

4 子育てグループづくりへの支援

子どもを遊ばせながら、学習や情報交換、行事などを実施する「子育てグループ」を支援します。

5 青少年を守る会（育てる会）の活性化

完全学校週5日制の実施に伴い「子どもを地域に帰す」ために、大人も含め町全体で地域の活性化に向けた取り組みを行います。

6 地域の教育力の導入

地域住民による講師リスト作成（人材バンク）と体験メニューの整備を行います。

7 非行防止活動

関係機関と連携して、啓発活動・パトロール活動を展開します。

スポーツ・レクリエーション振興の主要な施策

1 運動施設整備

総合公園体育施設を核として、充実した運動施設および施設周辺の環境を整備します。

2 スポーツ・レクリエーションの普及

多様なスポーツやレクリエーションの普及、誰でも楽しむことのできるニュースポーツの紹介など、身近に運動が楽しめる環境づくりを進め、スポーツ人口の増加に努めます。

3 スポーツリーダーバンクの活用

スポーツリーダーバンクへの登録を呼び掛け、制度の充実と活用に努めます。

4 地域総合型スポーツクラブの設立

学校の部活動と社会体育の相互の指導者不足を解消し、学校と地域の交流を図り、子どもからお年寄りの方までスポーツに親しめる環境づくりに努めます。

5 スポーツ大会等の開催

近隣市町等とのスポーツの交流や大会の開催を進めます。

文化・芸術振興、文化財保護の主要な施策

1 文化の振興

文化祭、文化講演会、新春コンサート等の開催を通じて、住民の文化に対する意識の向上を図ります。また、美浜音頭、みはま小唄を始めとして、地域に伝わる伝統芸能等の伝承に努めます。

2 文化財・伝統文化の発掘と保存

古い建造物や祭礼など、生きた教材、先祖から受け継いだ財産を積極的に掘り起こし、保存に努めます。

3 河和城跡の整備

現存している横掘りや土塁などの遺構を保存し、見学できるようにします。また、発掘調査などを継続的に行い、史跡としての内容の充実に努めます。

4 考古学資料・古文書・民俗資料等の収集・公開

資料を収集し、薫蒸、裏打ちなどの保存処置を施し、一般公開や研究資料に利用できるようにします。

5 町誌編さん事業

発行後新たな資料もあるため、専門家を導入し、長期の調査期間を設けて資料収集を進めます。

IV 平成24年度美浜町教育委員会 重点努力目標

- 1 「みはまの教育・合い言葉」の普及に努めるとともに、方針実現に向けた具体的な取組を行い評価する。
- 2 定例の学校訪問・学校視察はもとより、随時の学校訪問を積極的に行い、町内各小中学校の現状把握に努めるとともに、学校運営や学校管理について指導・支援を積極的に行う。
- 3 青少年教育，家庭教育，成人教育などを始めとする，地域におけるふれあい活動や生涯学習を積極的に推進するよう努める。
- 4 生涯スポーツ活動の拠点，スポーツに親しむことができる環境づくりを積極的に推進する。
- 5 学校給食が健全に実施できるよう給食費の未納防止に努める。
- 6 学校給食の広域化について調査・研究を進める。
- 7 ブックスタート「はじめまして絵本」事業を実施し、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを行い、親子とも本への関心を深めさせ、絵本を手渡すことにより図書館の利用率向上に努める。
- 8 日本福祉大学と町教委，各小中学校が連携し，子どもたちの教育活動及び住民の生涯学習活動をより充実するよう努める。

〈1について〉

- 定例の教育委員会において「みはまの教育・合い言葉」の唱和をする。
- 各学校へは、学校経営方針と美浜町教育方針（合い言葉）の関連付けを図るよう依頼する。23年度に引き続き、各学校や家庭と連携して、「約束・きまり・がまんの心」を教えて、礼儀正しく、お手伝い・勉強・運動なんでもがんばる子のさらなる育成に取り組む。
- パソコンや携帯電話の利用時における情報モラルを育成するための具体策を情報教育アドバイザーと連携・検討して取り組む。

〈2について〉

- 委員及び事務局職員は、時機をとらえ積極的に学校を訪問し、支援にあたる。
- 小学校においては学習指導要領の全面実施2年目、中学校においては学習指導要領の全面実施1年目の学習指導において、適切に行われるよう指導・支援する。
- 問題行動の早期発見，早期対応に取り組み，各学校や家庭，スクールカウンセラーなど，専門機関と連携し不登校児童生徒が減少するよう努める。
- 各学校や家庭と連携して，児童生徒（特に小学生）の家庭における学習習慣の確立を図れるよう，学校として具体策を検討して取り組む。
- 外国語活動（英語科）において，外国語活動指導員と連携して，児童生徒の国際理解教育を推進するとともに，教員の英語運用能力の向上を図る。
- 情報教育において，情報教育アドバイザーと連携して，ICT環境の整備に努め，児童生徒の

情報活用能力の育成を図る。

- 防災教育において、町防災安全課と連携して、防災教育の推進に努め、校内の防災対策の見直しを進めるとともに、児童生徒の防災意識の向上を図る。併せて保護者の防災意識を高める。

〈3について〉

- 青少年教育においては、23年度に引き続き子ども・若者育成の支援を推進するため県を始めとする関係機関、関係部署と協力して、子ども・若者育成の環境づくりに努める。
- 家庭教育においては、23年度に引き続き子育て支援者のサポート、子育てサークルの育成・支援、そして家庭教育講座の開催等を行なうとともに、地域、家庭、学校が相互に連携・協力して取り組む活動の推進に努める。
- 成人教育としては、23年度に引き続き高齢者が生きがいとして積極的に学び集う「みはま寿大学」の開催をサポートする。
- 生涯学習活動の拠点である公民館の施設改修、修繕を行い、活動環境の維持・向上に努める。

〈4について〉

- 年齢、性別を問わず誰もが生涯を通して、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努める。
- 文化活動も取り入れた多様多世代のコミュニケーションの場づくりを積極的に推進する。
- 仲間づくり、健康づくりをスポーツを通して楽しめるような環境づくりに努める。

〈5について〉

- 美浜町学校給食費収納要領に基づいて、小・中学校及び給食センター、学校教育課が協力連携し収納事務を円滑に進め、給食費の未納防止に努める。

〈6について〉

- 2市（半田市・常滑市）4町（美浜町・阿久比町・武豊町・南知多町）において調理業務の効率化、コストの削減に資するため、学校給食の広域化計画が提案され、広域化に向け、調査・研究を行う。

〈7について〉

- 平成23年度に図書館10周年記念事業として実施し、保健センターでの健診時に子どもと本との関係や、読み聞かせ等、本を開く楽しい体験をさせて絵本を手渡すため図書館来館を促したことにより図書館利用率が高まったため今年度も保健センターと連携協力し引き続き事業を実施し更なる図書館利用率の向上に努める。
- 事業実施により「美浜町子ども読書活動推進計画」の推進に努める。

〈8について〉

- 町教委、小中学校と大学が連携し、子ども発達学部の学生による学校インターンシップ（学校体験）が円滑かつ充実するよう努める。
- 町教委、小中学校と大学が連携し、シンガポール（イーミン小・ニーアン中）との国際交流事業が円滑かつ充実するよう努める。
- 大学のスポーツ教育センターと連携し、地域の特性を生かした総合型地域スポーツクラブを設立する。

V みはまの教育・合い言葉

美浜町教育委員会は、教育方針として「みはまの教育・合い言葉」を定めました。
大人も子どもも、学校も家庭も、地域全体でこの「合い言葉」を実践しましょう！

みはまの教育・合い言葉

みんなで

はじめよう！



まず、当たり前のことから！

◆ 広げよう！ 明るいあいさつ 素直な心

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子に

◆ 教えよう！ 約束・きまり がまんの心

礼儀正しく、お手伝い・勉強・運動なんでもがんばる子に

◆ はぐくもう！ 命あるもの 尊ぶ心

命あるものをいつくしみ、他人も自分も大切にできる子に



◆ 伝えよう！ 「もったいない」の言葉と心

物を粗末に扱わず、物にも感謝できる子に

◆ 実行しよう！ 早寝・早起き・朝ごはん

健康で、前向きにたくましく生きぬく子に



VI 施策の成果

第1 教育委員会運営

1 教育委員会開催状況（議案について記載、報告事項等は省略）

- 第1回（平成24年 4月 6日）
 - ・小中学校の主任等の発令について
 - ・平成24年度美浜町教育委員会重点努力目標について
- 第2回（平成24年 4月18日）
 - ・主任の処分について
- 第3回（平成24年 5月 8日）
 - ・美浜町図書館協議会委員の委嘱について
 - ・美浜町社会教育委員会委員の委嘱について
 - ・美浜町児童生徒シンガポール派遣要綱について
- 第4回（平成24年 6月 8日）
 - ・定期人事異動における希望市町調査について
- 第5回（平成24年 7月13日）
 - ・平成25年度使用小・中学校教科用図書の採択について
- 第6回（平成24年 8月 8日）
 - ・美浜町私立高等学校授業料補助金交付要綱（変更）について
- 第7回（平成24年 8月28日）
 - 報告事項のみ
- 第8回（平成24年 9月21日）
 - 報告事項のみ
- 第9回（平成24年10月 1日）
 - ・美浜町教育委員会委員長の選任について
 - ・美浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
- 第10回（平成24年10月25日）
 - ・知多地方視聴覚ライブラリー協議会の解散について
- 第11回（平成24年11月20日）
 - 報告事項のみ
- 第12回（平成24年12月 7日）
 - 報告事項のみ
- 第13回（平成25年 1月17日）
 - ・平成24年度美浜町教育功労者の選考について
 - ・平成25年度全国学力・学習状況調査への参加について
- 第14回（平成25年 2月19日）
 - 報告事項のみ
- 第15回（平成25年 3月 7日）
 - ・平成25年度教職員人事について
 - ・美浜町図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
- 第16回（平成25年 3月14日）
 - ・平成25年度教職員人事について
 - ・美浜町就学援助事務取扱要綱一部変更について
 - ・平成24年度美浜町教育委員会重点努力目標についての評価及び平成25年度美浜町教育委員会重点努力目標（案）について
- 第17回（平成25年 3月29日）
 - ・平成25年度美浜町教育委員会教育部人事について
 - ・美浜町社会教育委員の委嘱について

2 教育委員会委員の活動状況（上記教育委員会を除く）

教育委員会で委員を委嘱している社会教育委員会、文化財保護委員会、給食センター運営委員会、図書館協議会の各委員会及び各種会合に出席をして各委員会委員から意見を聴取した。

(月 日)	(内 容)	(場 所)	
平成24年 4月 2日	小中学校教諭発令通知式	美浜町役場	委員全員
4月 5日	町内中学校入学式	2 中学校	委員全員
4月 6日	町内小学校入学式	6 小学校	委員全員
4月19日	P T A総会	野間中学校	西地区委員
4月20日	P T A総会	6 小学校	地区該当委員
4月23日	P T A総会	河和中学校	東地区委員
4月28日	町文化協会総会	生涯学習センター	委員全員
5月12日	中学校自然教室訪問	小野浦自然の家	委員全員
5月16日	社会教育委員会	生涯学習センター	委員全員
5月23日	小学校陸上大会	布土小学校	委員全員
5月29日	文化財保護委員会	生涯学習センター	委員全員
5月30日	学校訪問	野間小学校	委員全員
6月 3日	河和中学校柔剣道場 起工式	河和中学校	委員全員
6月12日	学校訪問	布土小学校	委員全員
6月14日	学校訪問	河和南部小学校	委員全員
6月26～ 27日	校長会・教育委員会 合同視察研修	神戸市内	委員全員
6月29日	学校給食運営委員会	給食センター	委員全員
7月 3日	図書館協議会	生涯学習センター	委員全員
7月 5日	学校訪問	奥田小学校	委員全員

(月 日)	(内 容)	(場 所)	
7月 7日	社明大会・家庭教育講演会	総合公園体育館	委員全員
7月13日	県市町村教育委員会総会	碧南市	委員全員
8月 8日	小学校体育大会	総合公園体育館	委員全員
8月21日	シンガポール国際交流派遣団 結団式	美浜町役場	委員全員
8月28日	学校4役研修会	北方「福助」	委員全員
9月14日	シンガポール国際交流派遣団 報告会・解団式	美浜町役場	委員全員
9月18日	学校訪問	河和小学校	委員全員
9月21日	学校訪問	河和中学校	委員全員
9月23日	みはまスポーツクラブ設立総会	総合公園体育館	委員全員
10月10日	学校巡視	西地区小中学校	委員全員
10月17日	学校巡視	東地区小中学校	委員全員
10月19日	知教協研修会	常滑市福祉会館	委員全員
10月25日	町予算要望説明会	美浜町役場	委員全員
10月25日	町教育懇談会	美浜町役場	委員全員
10月27日	美浜町文化祭	総合公園体育館	委員全員
10月31日	学校訪問	野間中学校	委員全員
11月 9日	学校訪問	上野間小学校	委員全員
11月20日	町教職員会福祉部体育大会	野間中学校	委員全員
12月 1日	愛知県市町村駅伝大会	愛・地球博記念公園	委員全員
12月 7日	成人式実行委員会	総合公園体育館	委員全員
平成25年 1月 6日	河和中柔剣道場兼木工金工室竣工式	河和中学校	委員全員
1月13日	美浜町成人式	総合公園体育館	委員全員
1月20日	美浜タウンマラソン	総合公園周辺	委員全員
1月24日	学校給食週間	布土小学校	伊藤委員長
1月25日	学校給食週間	河和小学校	加藤委員
1月29日	学校給食週間	奥田小学校	石田委員
1月30日	学校給食週間	上野間小学校	川上委員
2月 8日	現職教育研究発表会	総合公園体育館	委員全員
3月 7日	中学校卒業式	河和・野間中学校	委員全員
3月19日	小学校卒業式	町内6小学校	委員全員
3月29日	教職員退職辞令伝達式	美浜町役場	委員全員

3 教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況

(1) 愛知県市町村教育委員会連合会研修会

期 日 平成24年7月13日（金）

場 所 碧南市芸術文化ホール

研修内容 第46回定期総会・研修会として開催

定期総会にて平成23年度事業報告・決算、平成24年度事業計画・予算、平成24年度役員案について審議、承認の後、研修会にてフルートとピアノの演奏を鑑賞した。

奏者 梶川 真歩（フルート） 岸 祐梨子（ピアノ）

曲目 歌の翼による幻想曲（シュテックメスト）はじめ5曲

(2) 学校4役研修会

期 日 平成24年8月28日（火）

場 所 北方「福助」

研修内容 講師 美浜町教育委員会委員長 石田さへ子 氏

地域の防災意識の向上を目的とした、DIG（デザスター「災害」・イメージネーション「想像力」・ゲーム）、HUG（避難所・運営・ゲーム）などの想像するゲーム方法を紹介しながら、自分の命は自分で守り、みんなの地域はみんなで守ることの大切さについて研修した。

(3) 知多地方教育委員研修会

期 日 平成24年10月19日（金）

場 所 常滑市福祉会館北館

研修内容 講師 あいち小児保健医療センター心療科医長 川村 昌代 氏

「発達障害の特性理解と支援のありかた」

(4) 教育委員会研修会

期 日 平成24年10月1日（月）

場 所 美浜町保健センター 資料展示室

研修内容 講師 美浜町教育長 山田 道夫 氏

「教育委員会制度のあらまし」

教育委員会の位置付け、性格上の特色、委員長と委員の役割等について研修を行った。

4 「みはまの教育・合い言葉」の普及活動

重点努力目標に掲げているとおり、各校PTA総会に委員が出席して合い言葉の普及に努めるとともに、教育委員会諸行事のあいさつ、生涯学習課での諸会議のなかでも普及取り組みについて説明を行った。また、学校の経営方針に合い言葉の趣旨に沿った目標を掲げ実践した。

5 日本福祉大学との連携

(1) 小中学校における連携

- ・ 町内の全小中学校が日本福祉大学子ども発達学部の学生44名を学校体験事業として1年間を通して受け入れた。
- ・ 学生にとっては学校現場を体験できたこと、小中学校にとってはアシスタントとして活用できたことなど双方にとって有効な事業であった。
- ・ 日本福祉大学スポーツ教育センターと連携し、特別支援学級交流会でスポーツ・レクリエーション活動を実施した。

(2) 総合型地域スポーツクラブ設立における連携

- ・ 日本福祉大学スポーツ教育センターと連携し、大学側施設、町施設を利用し美浜町スポーツ推進委員の協力のもと、みはまスポーツクラブを平成24年9月23日に設立した。プレ事業および教室やサークル等の開催を計画的に実施した。

(3) 図書館における連携

- ・ 平成22年3月24日に協定締結した、相互貸借協力により平成24年度は5冊の借受実績があった。
- ・ 美浜町図書館の図書館活動での子ども読書週間行事の一環として、日本福祉大学児童文化部あかとんぼにより、毎年行われている人形劇を24年度においても実施した。

6 学校訪問実施状況

各小中学校の教育目標、経営方針、重点努力目標及び学習指導への取り組みについて学校より報告を受け、公開授業、特設授業を参観して意見を述べた。

- | | | | | | |
|---------|-------|---------|--------|-----------|-------|
| ・ 布土小学校 | 6月12日 | ・ 河和小学校 | 9月18日 | ・ 河和南部小学校 | 6月14日 |
| ・ 野間小学校 | 5月30日 | ・ 奥田小学校 | 7月5日 | ・ 上野間小学校 | 11月9日 |
| ・ 河和中学校 | 9月21日 | ・ 野間中学校 | 10月31日 | | |

7 学校巡視実施状況

校舎、遊具及び備品の点検確認のため、10月10日に西地区の小中学校、10月17日に東地区の小中学校の巡視を実施して、学校からの要望を聴取し意見及び指導を行った。

第2 学校教育事業

1 児童生徒の指導

(1) 外国人英語講師派遣事業

人材派遣会社の外国人英語講師を中学校に派遣し、英語担当教師とともに生徒の語学力向上に努めた。

授業日数 河和中学校 40日 野間中学校 30日

(2) 外国語活動指導員

平成23年度より小学校5・6年生で外国語活動が必修化されたことに伴い、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図るため指導員を派遣した。

授業時間 年間35単位時間

(3) 学校生活適応指導

不登校の児童生徒に対する指導を行うため、学校以外の場所に教室を設置し、在籍校と連携を取りながら、個別のカウンセリング、集団での活動、教科指導等を行い、児童生徒の自主性・主体性の育成や人間関係の改善を図り、在籍校への復帰を目指した。

また、いじめ・不登校対策協議会を設置し、ケースの検討会議、メンタルフレンドの活用、児童委員との連携及び校内指導体制の整備を図った。

開設日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後3時

- 相談員 教育相談員 1名 指導員 1名
- (4) スクールアシスタント配置
 小学校特別支援学級及び通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようアシスタント教員を配置した。
- ・特別支援学級スクールアシスタント配置事業
 重度の障害を持つ児童が学ぶ小学校の特別支援学級の円滑な運営を図る。
 配置校 布土小2名、河和小2名、奥田小1名、上野間小1名
 - ・通常学級スクールアシスタント配置事業
 小学校の通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようにするため、町内6小学校に各1名を配置した。

(5) 情報教育

I C T環境を整備し情報教育アドバイザーと連携して、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。

- ・情報教育アドバイザー
 小中学校にて情報教育の補助及び情報教育機器の維持管理を行った。
 業務時間 384時間（小学校288時間、中学校80時間、学校教育課16時間）
- ・小中学校のコンピュータ設置状況 (単位：台)

学校名	パソコンルーム		職員室等			図書館	電子黒板	計
	児童用	教師用	デスクトップ	ノートPC	ラン配線	調べ学習用	ノートPC	
布土小	30	1	2	12	○	1	2	48
河和小	40	1	2	27	○	2	3	75
河和南部小	30	1	2	12	○	1	2	48
野間小	31	1	2	13	○	1	2	50
奥田小	30	1	2	12	○	1	2	48
上野間小	31	1	2	14	○	1	2	51
河和中	40	1	2	28	○	1	3	75
野間中	40	1	2	22	○	1	3	69
計	272	8	16	140	○	9	19	464

(6) 国際交流事業

町内の小学校5・6年生の児童14名と、中学生11名がフレンドシップ交流相手国シンガポールでホームステイや学校交流などを体験し、国際理解と相互交流の絆を深めた。

事業名 美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅
 inシンガポール2012

期 日 平成24年8月23日（木）～8月28日（火）

場 所 小学生：イーミン小学校、中学生：ニーアン中学校
 シンガポール政府観光局及び日本人会を表敬訪問

2 学校運営

(1) 児童生徒の状況

(平成24年5月1日現在)

区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	教員
小学校	児童数	181	206	213	219	221	227	25	1,292	85
	学級数	7	8	7	8	8	8	9	55	
中学校	生徒数	234	266	250				14	764	50
	学級数	7	8	7				4	26	

(2) 主な営繕工事（100万円以上）

布土小学校 プールろ過機ろ材取替工事
 河和小学校 職員室エアコン取替工事、遊具整備工事
 野間小学校 図工室屋外工事、段差解消スロープ等設置工事
 奥田小学校 遊具整備工事
 河和中学校 駐輪場修繕工事

(3) 河和中学校柔剣道場兼木工金工教室建設工事（工事概要）

工期 平成24年4月20日～平成24年12月25日
構造 鉄筋コンクリート造 2階建て
面積 延床面積976.6㎡
建設費 219,422,650円

(4) 自然の家合宿

愛知県美浜少年自然の家において、両中学校合同で自然の家合宿活動を実施した。豊かな自然環境の中での規律ある生活を通じ、集団の一員であるという自覚を高めるとともに、人間的ふれあいを深め、集団生活の中から助け合いの精神と互いに尊重し合う態度を養った。

実施場所 美浜町小野浦 愛知県美浜少年自然の家
実施期間 平成24年5月12日(土)～5月13日(日)
対象学年 1年生

(5) 野外教育活動

① 小学校

親の保護から離れ、大自然の中で野営・飯ごう炊飯・キャンプファイヤー等、新しい経験の中で創意工夫と自主的な態度、責任感と協力の精神を育成することを目的に実施した。

実施場所 愛知県豊田市 旭高原元気村
実施期間
・布土小・河南小 平成24年6月4日(月)～6月5日(火)
・河和小 平成24年6月5日(火)～6月6日(水)
・野間小・上野間小 平成24年6月6日(水)～6月7日(木)
・奥田小 平成24年6月9日(木)～6月10日(金)
対象学年 5年生

② 中学校

大自然に学ぶ生活の中で自然に親しみ、自然を愛する心情を育てるとともに、互いに協力し、助け合い、友情の輪を広げる。また、迅速に行動し、約束や決まりを守り、規律ある生活を体験することができた。

実施場所 岐阜県郡上市 郡上八幡自然園
実施期間
・河和中学校 平成24年6月19日(火)～6月21日(木)
・野間中学校 平成24年6月21日(木)～6月23日(土)
対象学年 2年生

(6) 研究指定校による学校づくり

《夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業》

愛知県が進めるキャリア教育の一環として、小学生5・6年生の児童がモノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から「仕事に対する心構え、努力していること、小学校で学んでほしいこと」などの話を聞き、働くことや学ぶことへの基盤をつくることを目的に事業を実施した。

実施校 上野間小学校

第3 社会教育事業

1 社会教育委員会（委員9人）

社会教育委員会の開催

社会教育に係る諸事業についての報告、各委員の意見交換を行った。

開催日	内容	会場
平成 24年5月16日	平成24年度社会教育事業計画及び予算について 社会教育委員活動について	生涯学習センター
24年9月12日	平成24年度事業中間報告について 平成25年度事業計画についての意見交換会	生涯学習センター
25年2月21日	平成24年度事業報告（後期分）について 平成25年度事業計画（案）について	生涯学習センター

2 生涯学習センターの運営

(1) 生涯学習センター利用状況

研修室1～3	研修室4 (パソコンルーム)	水野屋敷 (見学者も含む)	合計
10,164人	3,817人	698人	14,679人

(2) 多目的ルーム利用状況

① 展示利用

展示期間	内容
5月22日(火)～6月21日(木)	書道展（内田書道会）

② 学習室利用

利用期間	利用者延べ人数
7月20日～9月1日の毎日 4月2日～2月28日の土・日・祝日 3月1日～3月31日の毎日	590人

(3) 生涯学習講座

① みはま寿大学

高齢者がより健康で心豊かに生きがいのある楽しい生活を送るために、学習の機会を提供し中間の交流を深めることを目的として開催した。東学級(185人)、西学級(155人)、野間学級(151人)の三学級(491人)が、それぞれ7回の講座を実施した。

参加者数 延べ1,314人

修了者数 144人(5回以上の出席者には修了証を授与)

② 子ども教室

(参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
マイはし作り教室	7/16	1	22人
おもしろ科学実験教室	7/24	1	50人
わくわく新聞講座	7/25	1	16人
そろばん教室(対象 小学4年生)	12/22～27	5	77人
そろばん教室(対象 小学3年生)	3/23～28	5	105人
トールペイント講座	7/26、27	2	32人

③ 一般教室・講座 (参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
自主企画「ベビーマッサージ講座」	6/25～7/23	3	43人
コミュニケーション上達法講座	8/4～3/2	3	35人
とっても愉快的な川柳講座	8/5～12/2	5	83人
大人のパソコン教室「初心者基礎コース」	9/20～10/18	5	74人
古文書教室	9/23～11/24	8	57人
初心者のための英会話	9/29～10/27	5	59人
美浜の歴史教室	10/14～11/17	5	72人
大人のパソコン教室「初心者ワープロコース」	11/15～12/13	5	83人
お正月を彩るしめ縄づくり講座	12/13	1	11人

④ 共催事業 (参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
キッズタイム放送局講座	7/1～21	3	18人
はじめての巨大ドミノ講座	7/28～8/20	3	69人

3 青少年教育

(1) 成人式

新成人による実行委員会の企画運営にて式典を挙行了た。

開催日 平成25年1月13日(日)
 会場 総合公園体育館
 該当者 307人(男148人、女159人)
 参加者 240人(男120人、女120人)

(2) 青少年健全育成

① 青少年問題協議会(委員15人)

青少年健全育成に関する調査審議・各機関の連絡調整と、事業に関する審議を行った。

開催日 平成24年11月6日(火)
 会場 生涯学習センター

② 青少年健全育成推進大会(家庭教育講演会)

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動の一環として大会を開催した。

開催日 平成24年7月7日(土)
 会場 総合公園体育館サブアリーナ
 内容 「“親子の絆は世界一の宝物” どん底の俺を救ってくれた親のコトバ」
 講師 杉山裕太郎(魂のボーカリスト)氏
 参加者 433人

③ 啓発活動

青少年の非行問題・健全育成に取り組む県民運動の一環として、啓発活動を実施した。

開催日	場 所	参加者
平成24年 7月 7日(土)	青少年健全育成推進大会会場(総合公園体育館)	15人
平成24年11月11日(日)	美浜町産業まつり会場(総合公園体育館)	10人

④ 「家庭の日」普及事業

≪「家庭の日」県民運動啓発ポスターの募集≫

対 象 小中学生
 応募数 総数311点(小学生200、中学生111点)

≪「家庭の日」ポスター作品展≫

期 間 平成24年12月1日(土)～12月24日(月) 展示数 62点
 平成25年 2月1日(金)～3月31日(日) 展示数 6点(県入賞作品)
 会 場 生涯学習センター

4 家庭教育

(1) 子育て支援交流事業

① 親子ふれあいひろば

乳幼児を持つ親が子育てネットワーク等の支援により、親子の遊びや交流活動をし、親同士の仲間づくりを図った。

開催日 平成24年5月30日(水)～12月14日(金) 全13回

会場 奥田公民館ほか

対象 乳幼児(1歳半から2歳半の子)とその親

参加者 20組(延べ170人)

内容 防災について考える、七夕会、おしゃべり会、どんぐり拾い、思い出作品作り他

② 家庭教育講座

子どもの成長にあわせた子育ての学習講座を開催した。

乳児期 10月～12月 子育て支援センターで開催 計3回 参加者 延べ59人

幼児期 6月 各保育所で1回開催 計7回 参加者 延べ294人

思春期 1月～2月 各中学校で1回開催 計2回 参加者 延べ354人

(2) 地域におけるふれあい活動を対象とした事業

① 美浜町家庭教育推進連絡会議(平成11年度発足)

美浜町の子どもたちの健全育成をめざして、町全域を対象に家庭教育の推進を図った。

連絡会議 2回開催 平成24年6月22日(金)、平成25年2月28日(木)

② 知多地区「子育て支援地域交流会」

(愛知県教育委員会、知多教育事務所、知多地区家庭教育推進運営協議会主催)

開催日 平成24年12月8日(土)

会場 大府市勤労文化会館くちなしホール・展示室

参加者 美浜町より12人

③ 各青少年を守る会の取り組み

各小学校区ごとに、区・小中学校・PTA・老人会等各種団体の役員が中心となって運営し、地区内すべての青少年を健全に育成するため、様々な活動を展開した。

5 文化振興事業

(1) 美浜町文化祭

美浜町文化協会文化部会(文芸部門、美術部門、手工芸部門、茶華道部門)が中心になり企画運営をした。作品の展示を通して、町内の文化活動にいそしむ人々の交流を促進すると同時に切磋琢磨の場として開催した。

開催日 平成24年10月27日(土)、28日(日)

会場 総合公園体育館メインアリーナ

内容 絵画、書、写真、手芸、工芸、生け花、盆栽
小中学生作品(習字・図画)等の展示

入場者 約2,000人(両日計)

出品数 53団体1,361点、小学校(6校)、中学校(2校)

その他 呈茶(茶華道部) <利用者>延べ約909人

(2) 美浜町芸能祭

美浜町文化協会芸能部会(芸能部門、音楽部門、ダンス部門)が中心となり企画運営をした。日頃楽しみ、研鑽している芸能を披露することにより、同好の人々やその他の人々との交流を深めたり、芸を一層高めたりする機会として開催した。

開催日 平成24年10月28日(日)

会場 総合公園体育館サブアリーナ

内容 民踊、日本舞踊、コーラス、民謡、詩吟、大正琴、ダンス、箏曲等

観客 約800人 出演者 34団体396人 演目数 34演目

(3) まちの音楽会

町内を始め町周辺地域で日頃から音楽活動を行っている音楽愛好者のグループや個人が自ら音楽会を企画・開催することにより、他のグループ等との交流や日頃の成果を発表しあう機会を提供するため開催した。

また、参加グループ等の代表者と公募によるスタッフで構成する実行委員会による開催とし、人材の発掘と一層の音楽振興を図り、豊かな心の発展と地域リーダーの育成を図った。

開催日 平成24年12月9日(日)

会場 総合公園体育館サブアリーナ

内容 フォーク、ポップス、合唱等

出演数 24団体 268人 来場者 280人

第4 公民館事業

1 公民館管理

- 布土公民館 . . . 指定管理者布土区に管理委託
- 河和南部公民館 . . . 指定管理者河和南部区長会に管理委託
- 野間公民館 . . . 指定管理者野間区長会に管理委託
- 奥田公民館 . . . 指定管理者奥田北・中区に管理委託
- 上野間公民館 . . . 指定管理者上野間区に管理委託

2 利用状況

公民館名	利用回数	利用人数
布土公民館	889回	14,623人
河和南部公民館	101回	2,501人
野間公民館	668回	9,839人
奥田公民館	872回	13,607人
上野間公民館	548回	7,779人
合計	3,078回	48,349人

3 公民館活動

地区の公民館を拠点とした地域住民等による生涯学習活動の推進を図った。

(1) 野間公民館

講座名	期日	回数	参加者
公民館清掃	7/8	1	60
ペットボトルロケット教室	7/28・8/5	2	37
歴史教室「源義朝を学ぶ」	8/25	1	60
親子で楽しいお菓子づくり	11/18	1	20
公民館まつり	2/24	1	385

(2) 布土公民館

講座名	期日	回数	参加者
いも栽培（苗植え・収穫）	5/18、10/25	2	154
ゴキブリ団子づくり教室	5/26	1	22
稲栽培（田植え・稲刈・脱穀）	6/21、11/8、22	3	109
盆踊り教室	7/24、8/6	2	57
伝統食の料理教室	11/28	1	23
親子菓子作り教室	12/23	1	38
布で干支づくり教室	12/24	1	8
みんなでキムチを作る教室	2/18	1	10

第5 文化財保護事業

1 文化財保護委員会

文化財の保存と活用に関し、文化財保護委員会を開催した。

開催日 平成24年5月29日（火）、平成25年3月1日（金）
会場 美浜町生涯学習センター

2 文化財保護事業等

(1) 民具・文書の整理など

(2) 埋蔵文化財包蔵地に係る事務

・有無照会 3件 ・工事立会 0件 ・試掘調査 0件

- (3) 文化財防火訓練 100人
 開催日 平成25年1月23日 (水)
 会場 大御堂寺
 内容 野間保育所園児による防火啓発、通報訓練、消火器・消火栓訓練
- (4) 布土郷土資料室、水野屋敷記念館の維持管理
- (5) 町文化財指定 平成25年3月29日指定
 彫刻 阿弥陀如来立像 1体 大御堂寺
 彫刻 木造大日如来坐像 1体 大仙寺

第6 社会体育事業

1 スポーツ推進委員

年6回の定例会、行事に応じての臨時委員会等を設け、スポーツ教室・大会の企画運営を行うとともに、住民スポーツ振興のための指導助言等を行った。

また、平成24年9月23日みはまスポーツクラブが設立された。町・日本福祉大学との連携による総合型地域スポーツクラブの創設に向け、各種プレ事業及び教室・サークル活動の運営に協力した。

2 スポーツ大会の開催

スポーツ及びレクリエーションの大会を通じ、健康と体力の保持・増進を図ることを目的に開催した。

- (1) 第24回美浜町民ふれ愛チャリティーゴルフ大会開催
 期日 平成24年8月27日 (月)
 会場 新南愛知カントリークラブ
 参加者 98名
- (2) 第14回美浜町ふれ愛ペタンク大会開催
 期日 平成24年9月17日 (月)
 会場 総合公園グラウンド
 参加者 144名
- (3) 第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会参加
 期日 平成24年12月1日 (土)
 会場 愛・地球博記念公園
 参加者 監督、コーチ、選手20名
- (4) 美浜スポーツ・レクリエーション祭2012開催
 期日 平成24年12月16日 (日)
 会場 総合公園体育館アリーナ
 内容 ミニテニス・カローリング・スナッグゴルフ・ラクロス
 参加者 93名
- (5) 第27回美浜タウンマラソン大会開催
 期日 平成25年1月20日 (日)
 会場 総合公園体育館周辺
 参加者 1,148名
- (6) 美浜町ソフトバレーボール大会開催
 期日 平成25年3月10日 (日)
 会場 総合公園体育館アリーナ
 参加者 84名

3 トレーニング室運営事業

効果的なトレーニング方法の指導を図るため、トレーナーをトレーニング室に配置した。また、正しく、安全に機器が取り扱えるよう週2回の利用者講習会を開いた。

・講習会受講者数 258人 ・年間利用者数 延べ 8,134人

4 社会体育施設等の利用状況

- ・総合公園体育館 97,703人 (トレーニング室利用者含まず。)
- ・総合公園グラウンド 19,779人
- ・総合公園テニスコート 6,905人
- ・第2町民グラウンド 2,673人
- ・野間中グラウンドナイター 1,839人

第7 図書館運営事業

1 美浜町図書館協議会

- 開催日 平成24年7月3日(水)
協議事項 ・平成23年度の実績報告について
・美浜町図書館の現状について
・平成24年度事業計画について

2 図書館の現況

- ・平成25年3月31日現在の蔵書数 131,543点
- ・平成24年度貸出人数 43,950人
- ・平成24年度貸出点数 200,798点
- ・平成24年度資料購入点数 5,234点
- ・平成24年度来館者数 87,588人

3 図書館活動

(1) ブックスタート(はじめまして絵本)事業

美浜町図書館が開館10周年を記念して始めたブックスタート「はじめまして絵本」事業を平成24年度も引き続き実施した。保護者に本を介して子どもと楽しいひとときを感じてもらうことにより、心安らぐ子育ての時間を持つきっかけ作り、また、親子とも本への関心を深めることにより、将来にわたり、図書館の利用率を高めるため、平成24年、23年生まれの子を対象としてその保護者に絵本をプレゼントした。

(2) 読書週間行事

《子ども読書週間(4月23日～5月12日)》

日本福祉大学児童文化部「あかとんぼ」による人形劇の上演を行った。

- ・開催日 平成24年4月29日(日) ・参加者 保護者24人、子ども37人

《読書週間(10月27日～11月9日)》

- ・GO!GO!図書館(期間中に貸し出しを5回以上された方に記念品を贈呈した。)
- ・除籍図書の無料配布(雑誌839冊) ・MYBOOKにカバーをかけよう講座

(3) 読み聞かせ会

読み聞かせボランティア団体(海の子文庫、空とぶじゅうたん、ぶつくふれんず)及び図書館職員による読み聞かせを、毎週木曜日と土曜日に計98回開催した。

参加者延べ人数:2,698人

(4) ブックトーク

図書館運営指導員等が、小中学校に出向して各種のテーマに沿った本を紹介し、読書意欲の喚起を図った。

実施日 平成24年 7月 3日(上野間小3・4年生)、 7月 4日(上野間小5・6年生)

7月 6日(上野間小1・2年生)、 9月 6日(野間小4年生)

9月14日(河南小4・5・6年生)、10月18日(野間小4年生)

10月26日(河南小5年生)、10月31日(野間小3年生)

平成25年 2月19日(野間中3年生)、 2月26日(野間中2年生)

(5) 保育所等年長児絵画展

平成24年5月～平成25年2月まで、町立保育所と大和幼稚園の年長児の絵画をお話のへや横の掲示スペースに掲示して絵画展を行った。

(6) 図書館見学

- ・町内6小学校 3年生
- ・南知多師崎小学校3年生
- ・南知多篠島小学校4年生

(7) 実習生受け入れ

中学生の職場体験学習を受入

- ・河和中学校2年生 4名(8月7～9日)
- ・野間中学校2年生 4名(8月2、3日)

第8 学校給食センター管理運営

1 給食センター運営委員会

開催日 平成24年6月29日（金）
協議事項 給食センターの管理・運営の現状について

2 学校給食の状況

学校給食は教育の一環として、児童、生徒が心身共に発達していけるように、いろいろな角度から調査研究しながら実施しており、安全かつ衛生的な食事の提供はもとより、栄養のバランスを配慮した給食を実施した。

また、栄養士が学校で、食を通しての良き人間関係の育成と食事マナーの習得を目的とし、次世代を担う児童、生徒の心身共に健全な発達を願い食生活の指導をした。

こうした中で毎月の献立表、年3回の給食だよりを通して保護者への食に関する啓発にも力を入れた。

(1) 学校給食対象校及び給食数（平成24年5月基本食数）

小学校 6校 1,402名
中学校 2校 812名
計 8校 2,214名

(2) 年間給食回数 195回

(3) 述べ給食数 401,386食

(4) 給食1食当りの内訳（消費税及び地方消費税含む）

区分	主食代	牛乳代	副食代	計
小学校	48円85銭	46円45銭	134円70銭	230円
中学校	59円48銭	46円45銭	154円07銭	260円

(5) 給食費の収納

小・中学校及び給食センター、学校教育課が協力連携し収納事務を円滑に処理するため、美浜町学校給食費収納要領（平成23年4月1日施行）を制定した。

・平成24年度給食費未納額 0円

3 食に関する指導

(1) 全体指導

食に関する基本的な知識や心身ともに健康な生活を送るため、学校給食法の目標を達成できるよう栄養指導等を行った。

① 特別活動（学級活動）

児童生徒の食への関心を高め、健康の自己管理能力を育成するために行った。

計69学級実施

対象学年	指導内容
小学校 1年生	給食の秘密を知ろう
2年生	野菜を食べよう
3年生	魚を食べよう
4年生	バランスよく食べよう
5年生	米を見直そう
6年生	食生活を見直そう
中学校 1年生	朝食の大切さを知ろう
2年生	カルシウムをしっかりとろう
3年生	考えて作ろう選ぼう私の給食

② 心を育む学校給食週間

豊かで思いやりの心をもつ生徒を育成するねらいで行った。

③ 愛知を食べる学校給食

地場産物への理解や環境に配慮することのできる児童生徒を育成する目的で、毎月19日の「食育の日」に行った。

④ 学校給食週間

「強くしよう心と体！ースポーツ選手の食事から学んでー」と題し児童生徒に、健康な体を作るには食事を始めとする生活の見直しが必要であることを知らせた。

⑤ 卒業祝い給食（小学校6年生・中学校3年生）・セレクト給食（全児童生徒）

料理を選択する楽しみをもたせ、仲間とともに楽しく会食することを目的にして行った。

(2) 個別指導

食に関わる個々の児童生徒の状況に則した指導を行うことで、充実した学校生活が送れるよう配慮した。

① 食物アレルギーをもつ児童生徒とその保護者への指導

該当児童生徒とその保護者に面談を行い、使用食材の詳細資料を配付した。また、食材や調味料の一部を除去した調理を行った。

② 肥満傾向児童への指導

食事を含む生活習慣の改善を図るため、該当児童生徒とその保護者を対象に食事指導や生活指導を行った。

(3) 学校・地域への指導

児童生徒および保護者が食への関心を高め、家庭で望ましい食習慣が形成されることを目的として行った。

内容

学校保健委員会	町内小中学校2～3回
料理教室	夏休み親子料理教室 7月26日(木)
学校給食試食会	町内全小学校
献立表、食育・給食だより	(献)毎月、(食)毎月、(給)学期に1回

Ⅶ 総合評価

平成24年度当初に計画した事業を予定どおり実行できたことにより、教育委員会を活性化することができました。

また、平成24年度美浜町教育委員会重点努力目標についても、8項目の目標が達成でき、平成25年度につなげることができました。

総合計画及び努力目標に示された事項だけでなく、委員が参加できる各種委員会、協議会には委員全員が積極的に参加し、会議の活性化を図ることができました。

「みはまの教育・合い言葉」の推進も努力目標に示して、委員自らがあいさつの中で啓発し普及に努めました。

平成25年度も新たな重点努力目標を作成しており、その実現を含め、様々な事業を展開し、教育推進に向け鋭意努力していく考えであります。

評価者

美浜町教育委員会

委員長 伊藤ふき子

委員 加藤 信

委員 川上 英雄

委員 石田さへ子

教育長 山田 道夫

Ⅶ 点検評価委員による評価

横田 和弘 委員（元美浜町教育委員会委員長）

昨今、またしてもいじめによる悲惨な事件報道が多くながれています。いじめの根絶が教育に関わる全ての方の永遠の課題とも言えると思いますが、いじめの原因は学校現場だけの責任ではなく、いじめをされた側、いじめをした側を取り巻く家庭環境、地域にも大きな責務があるということは認識されていることと思います。その意味で、学校教育のみならず家庭教育、社会教育に指導・支援の重責を担っている教育委員会に対する期待は、ますます大きくなっている中で、各分野の施策に多くの成果をあげられていることを大いに評価したいと思います。

以下、評価委員として気づいた点について要望等含めて述べさせていただきます。

第4次美浜町総合計画の教育委員会関連部分の主要施策について

- 1 河和学区の長年の要望事項であった河和中学校での柔剣道場・金工木工室が完成し、新学習指導要領にそった授業がこれで両校ともできるようになったわけではありますが、生涯に影響を及ぼすような事故が起きないように、注意をはらった適切な指導を今後も継続的にお願いしたい。
- 2 いじめ・不登校に関しては、今以上に早期発見・早期解決の徹底をお願いしたい。
- 3 地域総合型スポーツクラブの充実に努めていただきたい。

平成24年度美浜町教育委員会 重点努力目標について

- 1 「みはまの教育・合い言葉」の創設の原点は、教育委員会の形骸化が言われている中で、町教育委員会が外に出向くためのツールとして、また子供の教育以上に大人の教育が必要であるという見地から、子供に普及させれば大人も見習わざるをえないだろうという発想、不易流行つまり人間教育としてどのような時代にあっても、絶対に守るべきものは何かを検討した結果、出来上がったものです。この原点を忘れることなく、さらなる活用、普及方法をぜひ検討して欲しいものです。
- 2 パソコン、携帯電話等の利用時における情報モラルの確立は急務です。情報教育アドバイザーを教育委員会にお呼びして、情報交換や施策をぜひ話し合う場を設けていただきたい。
- 3 給食費の未納問題は他市町では深刻な問題です。本町は未納率0%ではあるが、それは担当の教師の普段のたゆまぬ努力のおかげであると思います。教育委員は学校側にはつねに教師への慰労の言葉を忘れず、またPTA総会、給食懇談会等、保護者と接する

機会をとらえて、是非とも未納率0%をPRしていただきたいと思います。

総括

本町教育委員会の特徴は、事務局のフットワークの軽さと、教育委員は学校と地域の中に在るという認識を共有されていることです。この特徴が失われた時点で、確実に教育委員会の機能と組織は形骸化いたします。重々この点を忘れずに、特に教育委員は学校教育に関しては常に学校にベクトルを向け、ひとりでも多くの保護者との接点づくりに励んでいただきますことを、また町行政への発言力の確保に努められますことを切に望みます。あわせて事務局含め委員の報酬は税金で賄われています。この責任に応えるべく本町の社会教育事業、文化財保護事業、社会体育事業等、教育委員会が携わる事業に真摯にお取り組みいただきますことを期待いたします。

浦瀬 英輔 委員（元美浜町立河和中学校長）

現代社会はとどまることなく変化し、教育を取り巻く環境も一段と複雑化しています。今後、教育委員会の担う役割はさらに重要度を増してきております。そうした中、数少ないスタッフで多岐にわたる事業を円滑に展開され、多くの成果をあげておられることに、感謝と敬意を表すものであります。今後も本町教育の充実・発展にご尽力いただきますことをお願いします。

以下、評価委員として感じたことを述べさせていただきます。

◎教育委員会の運営については教育委員各位の熱意の下、今年度も着実な成果を上げられたと思う。委員各位は、町独自の研修会はもとより各種研修会に積極的に参加され、国や県の教育動向を踏まえたうえで、町内各小中学校をはじめとする教育関係施設等の実態把握に努められているとお聞きしている。今後も、そのスタンスをもって、美浜町教育発展のため適切なお提言をされたい。

◎「みはまの教育・合い言葉」については、誰でも実践できる具体的でわかりやすい、すばらしい標語であると思う。各学校でも力を入れて指導されているが、町全体に一層普及させることが各学校においてさらに機運を盛り上げ、定着につながると思う。今まで、町広報等で各戸配布されても意識が高まらない状態であり、ぜひ、各区長のお力を拝借し啓発に努めていただきたい。

◎いじめや不登校等への対策については対策協議会の設置、全小中学校での現職教育、アンケート等を実施し、早期発見・早期対応に取り組んでいただいている。また、児童生徒や保護者などの悩み、相談に対応するスクールカウンセラーの充実も図られている。いじめや不登校を発生させている根本的な課題解決のため、時間はかかるが子どもに寄り添う、粘り強い児童生徒支援をお願いしたい。

◎教育関係施設の改修・修繕は先見性をもち計画的に実施していただいている。また、学校施設では児童生徒がより快適に学校生活を送れるよう配慮していただいていることも高く評価したい。安全面においても、交通安全対策は様々ご配慮いただいているが、不審者への対応等にもできる限りの対策を講じていただきたい。

◎生涯学習講座の子ども教室講座が前年度に比べ大幅に増え、一般教室・講座数も1.5倍となった。参加者数も当然増えたわけだが、町民の学習意欲を的確にとらえ、適切な講座を開設した賜物と思う。今後とも町民のニーズを的確にとらえた講座を開設していただきたい。その反面、図書館の来館者数が昨年度比一割弱減少という結果になった。すでに検討されていると思うが、原因を吟味し利用者増、ひいては図書館運営事業の充実につなげていただきたい。

◎栄養教諭や学校栄養職員が学校を巡回し「食」に関する指導をしているが、調理員も学校現場に出かけ、子どもたちがどのような様子（表情・反応）で食べているのかを見てもらえるとよい。調理の際に、子どもたちが楽しく、おいしく食べる姿を思い浮かべながら調理をすることは職員のやる気にもつながると思う。また、子どもたちにとっても、食材や給食を作ってくれている人たちに感謝する気持ちが育まれることになると思う。